

10月定例記者会見資料

平成25年10月7日（月）13:00～
ハイトピア伊賀5階 学習室2

1. 市長からの発表

・台風18号による被災状況について

台風18号についてですが、最初に台風で被害にあわれました皆様方にお見舞いを申し上げるとともに、警戒や避難誘導活動等にご協力をいただきました地元消防団員をはじめ、関係各位、またボランティア活動にご協力をいただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

伊賀市での被害は、幸いにも人的被害はありませんでしたが、市内の最も多いところで、連続雨量620mm、24時間雨量では528mmという伊勢湾台風を上回るという豪雨により、河川の増水や各地での土砂の崩壊をもたらしました。

特に、国道422号線、国道163号線の崩壊、各地での浸水被害が発生しました。また、公共土木施設、農地、農林業施設の被害も甚大で、現在も調査を行っているところでございます。

このような被害の中、19日には亀岡内閣府大臣政務官の現地調査が行われ、20日付けで早期復旧に向け、政府としてできる限りの迅速な対応を行う旨の親書を頂戴しております。22日には鈴木三重県知事による現地調査が実施され、早急な対策と支援をお願いいたしました。

市といたしましても国、県との連携のもと、引き続き市民の皆様方の安心安全な暮らしを守るため、道路の復旧、河道の整備、堤防改修等一日も早い復旧に努めると共に、このたびの台風への市の対応についてしっかり検証し、災害に対する体制を改善し、万全を期していきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

・10月のトップセールスについて

私が市長に就任以来、掲げています「観光立市」を実現するため、あらゆる機会を通じて、トップセールスで伊賀市の魅力を全国に発信しているところです。

これから秋の観光シーズン本番を迎え、伊賀市でも、芭蕉祭や上野天神祭をはじめ多くの行事が開催されます。

今月は、県外への出張が大変多いのですが、この機会を利用して伊賀市の魅力をしっかりと情報発信したいと考えています。

まず1つ目ですが、10月12日（土）、午前11時30分から、シェラトン都ホテル大阪におきまして、平成25年度「関西三重県人の集い」が開催されます。関西在住の三重県出身者や企業関係者等、毎年300人を超える方が参加されているということでもあります。私も出席して、この機会にぜひ伊賀市をPRしてきたいと思っています。

当日は、芭蕉祭を開催していますので、川口産業振興部長にも出席してもらい、私は芭蕉祭が終了後に駆けつけたいと思っています。

2つ目は、5月の定例記者会見で申し上げました、近畿市長会への参加についてです。

前回5月15日は議会全員懇談会などで秘書広報課長に代理出席させましたが、9月30日に開催されました近畿市長会役員会で、総会の傍聴と総会懇談会への参加につい

て了承されましたので、今回は私自身が参加させていただき、各市長と情報交換をさせていただき、また、伊賀市の情報を発信してきたいと思っています。

近畿市長会総会は10月17日（木）、午前9時30分から大阪の千里阪急ホテルで開催されます。

3つ目は、「伊賀の食材フェア」です。10月26日（土）から11月10日（日）まで、東京浅草の、すしや通り商店街・アーケード通り周辺において「忍びの里 伊賀産（いがもの）を味わう 2013 in 浅草」を開催します。

このイベントは、浅草寺周辺の飲食店 20 店舗に協力をいただき、伊賀の食材である「伊賀牛」「伊賀米」「伊賀産菜種油」を使用した特別メニューを提供していただくことになっています。前夜祭の10月25日には、特別メニューの試食会を台東区区民会館で行い、台東区、議会、東京商工会議所をはじめとする関係諸団体の皆さんと交流いたします。

また、期間中の10月26日（土）、27日（日）、11月10日（日）には「伊賀牛串焼き」や「伊賀米量り売り」「菜種油販売」「伊賀の地酒と伊賀焼の販売」「手裏剣道場」などを実施し、伊賀市を紹介します。

私も協力店舗の皆さんや伊賀の食材を食べていただいた方々に直接インタビューをして、伊賀産ブランドの販売促進に取り組んで来たいと思います。

・芭蕉翁生誕370年記念事業に係る募金の実施について

平成26年に迎える「芭蕉翁生誕370年」を節目に、翁の偉業をあらためて顕彰し、次代の芭蕉翁顕彰の基盤を確たるものとすることや芭蕉翁の生誕地が伊賀市であることを伊賀市が持つ多くの魅力とともに広く内外に情報発信することを目的に記念事業の実施を計画しています。

現在、市内の各種団体、企業、行政機関等が連携協力して実行委員会及び実行部会を組織し、事業展開等について検討いただいているところですが、記念事業をより充実したものとし、市民の皆さんと一体となった取り組みとするため、広く浄財を賜りたいと考えています。市に対して既に募金のお申し出もいただいています。そこで、市役所本庁舎や各支所などに募金箱を設置し、市民の皆さんから募金を募るほか、「ふるさと応援寄附金」による寄附も受け付けさせていただきたいと考えています。「ふるさと応援寄附金」では、使い道のメニューから「芭蕉や地域文化などを学び、文化を大切にするまち」を選び、5000円以上のご寄附から活用いただくことができ、お住まいの地域で税金の控除を受けることも出来ます。

これら募金については、今後、芭蕉翁生誕370年記念事業実行委員会にお諮りし、委員会としても取り組んでいきたいと考えております。

・鉄郎・メーテルブロンズ像の設置について

今回、鉄郎・メーテルブロンズ像を上野市駅前に設置することになりました。

まず、設置するに至った経緯及び趣旨等についてですが、伊賀市ゆめが丘地内の県立ゆめドーム前共用広場に設置されておりました漫画家松本零二氏の代表作「銀河鉄道999」の人気キャラクターの「鉄郎・メーテルブロンズ像」及び「太陽系モニュメント」は、「ゆめが丘住宅地のまち開き1周年」に合わせて近畿日本鉄道株式会社により設置さ

れました。

このたび、所有者である近畿日本鉄道株式会社の理解を得て、これらのモニュメントを伊賀市に譲渡いただき、市民のみならず広く当市を訪れる方々にも親しんでいただくため、また、同じく松本零二氏がデザインされた忍者列車を運行する伊賀鉄道伊賀線の利用促進を図る目的から同鉄道沿線に移設したいと考えております。

また、今後、このモニュメントが沿線の新たな観光スポットとして定着することを期待しております。

移設先についてですが、「鉄郎・メーテルブロンズ像」及びブロンズ像に付随する「メッセージ板」は、上野市駅前の歩道へ移設する予定です。また、「太陽系モニュメント」については、現在、設置について伊賀鉄道を含め関係機関と調整しています。

「鉄郎・メーテルブロンズ像」及び「メッセージ板」の移設工程についてですが、現在、ゆめが丘からの撤去作業は終了しており、10月17日（木）に上野市駅前の歩道の土工及び掘削作業を実施します。翌日、10月18日（金）にモニュメントの移設作業を実施し、10月19日（土）には、路面復旧及び養生を実施し完了の予定です。

・ナイトライブラリー灯りでつなぐ本との出逢い2013について

10月26日（土）午後5時から上野図書館でナイトライブラリー 灯りでつなぐ本との出逢い2013を開催します。

上野図書館の本棚や中庭をライトアップして、やさしい灯りに照らされた幻想的な図書館で、「おはなし会」や「朗読のゆうべ」をお楽しみいただきます。

子どもたちには、やさしく光る「紙ふうせんうさぎづくり」も行います。

また、ナイトリーディング、灯りのもとで自由に読書もしていただけます。

この、ナイトライブラリーは、2部構成で、第1部は、子どもさん対象に大型紙芝居や絵本の読み聞かせを、第2部は、中学生以上を対象に朗読のゆうべを行います。朗読は私が担当いたします。内容は、古典を読む 一芭蕉をふるさとのことばでーとなっています。いずれも、申し込みいただかなくてはなりませんので、上野図書館へお問い合わせください。

読書週間が10月27日から始まります。市民の皆様にも本に親しむ機会を多く持っていたきたいと思っております。

・平成25年度地方教育行政功労者表彰について

この度、勝本順子教育委員長様が、地方教育行政の発展に顕著な教育委員会の委員であることから、今年度の文部科学大臣表彰を受けられました。

その功に報いることから、10月4日、文部科学省で表彰式が行われました。

勝本順子様は、昭和49年4月から教職につかれ、以来、平成10年4月からは、旧青山町の社会教育指導員、平成12年10月からは、旧青山町教育委員、伊賀市合併時の平成16年11月からは教育委員長としての経歴です。

また、功労の主な内容は、校区再編の推進や学校マニフェストの導入、中学校給食の完全実施、人権同和教育の推進のため、平成19年4月には、「伊賀市人権同和教育基本方針の策定」の功績があります。

2. 10月～11月上旬の主な行事予定

(1) 平成25年度（第67回）芭蕉祭

日時：10月12日（土） 8：30～
場所：上野公園内俳聖殿前広場、愛染院故郷塚ほか
内容：墓前式典、献花・献菓、芭蕉祭式典
問い合わせ先：企画課（22-9621）

(2) 第9回市展「いが」

日時：10月23日（水）～27日（日）10:00～19:00 ※27日は16：00まで
場所：ハイトピア伊賀5階
内容：絵画・彫塑工芸・写真・書道の作品展示
問い合わせ先：企画課（22-9621）

(3) 第10回伊賀市立上野総合市民病院市民公開講座

日時：10月26日（土） 13：30～
場所：ヒルホテルサンピア伊賀 4階白鳳の間
テーマ：「不整脈について」
講演者：国立大学法人滋賀医科大学 循環器内科 講師
伊賀市立上野総合市民病院非常勤医師 山本 孝さん
国立大学法人滋賀医科大学 呼吸循環器内科 教授
伊賀市立上野総合市民病院非常勤医師 堀江 稔さん
問い合わせ先：上野総合市民病院内経営企画課（24-1111）

(4) 伊賀市民文化祭2013

日時・場所・内容：
10月29日（火）～11月2日（土）9:30～17:00 美術作品展・前期
※最終日は16:30まで（ハイトピア伊賀5階）
11月27日（水）～11月30日（土）9:30～17:00 美術作品展・後期
※最終日は16:30まで（ハイトピア伊賀5階）
11月10日（日）12：00～ 総合フェスティバルⅠ（伊賀市文化会館）
11月17日（日）13：00～ ライトミュージック（ハイトピア伊賀5階）
11月23日（土・祝）13：00～総合フェスティバルⅡ・音楽祭（伊賀市文化会館）
11月24日（日）13：00～ 洋舞・ジャズダンス（伊賀市文化会館）
12月1日（日）13:00～ 総合フェスティバルⅢ（伊賀市文化会館）
問い合わせ先：企画課（22-9621）

(5) 隣保館福祉交流会

日時：11月2日（土） 10：00～14：30

場所：寺田市民館

内容：中瀬城東保育園（唄）、中瀬小学校（発表・合唱）、城東中学校（演奏）
もちつき大会等のイベント

問い合わせ先：同和課（47-1287）

(6) 医・看護学実践教育プログラム 第3回「伊賀塾」

日時：11月3日（日） 13：00～18：30 開塾式・白熱塾
19：30～ ナイトセッション
11月4日（月・振替）8：00～12：00 白熱塾・パネルディスカッション・
閉塾式

場所：史跡旧崇廣堂

講師：東京女子医科大学名誉教授 小柳仁さん（塾長）

京都大学名誉教授 京都大学大学院総合生存学館思修館専任教授
光山正雄さん

聖路加看護大学学長 井部俊子さん

ノンフィクション作家 後藤正治さん

カルビー(株)代表取締役会長兼 CEO 松本晃さん

名古屋大学大学院医学系研究科准教授 杉浦伸一さん

伊賀市立上野総合市民病院院長 三木誓雄

問い合わせ先：上野総合市民病院内伊賀塾事務局（24-1111）

(7) ハイトピア伊賀 駅前広場完成 グランドオープンイベント

日時：11月4日（月・振替） 9：00～

場所：ハイトピア伊賀全館、駅前広場、栄楽館、入交家、甲野屋駐車場、
銀座中央駐車場ほか

内容：大知正紘コンサート、吹奏楽コンサート、影絵人形劇、みえしよく大集合！
with ゆるキャラカーニバル、いがしよく大集合！～いがモノ販売広場～
など、ハイトピアを中心に楽しいイベントが展開されます

主催：ハイトピア伊賀管理組合

問い合わせ先：上野商工会議所青年部（21-0527）

(8) 市内の秋まつり

○けんずいまつり 2013

日時：11月3日（日・祝） 10：～15：00

場所：阿山B&G海洋センター駐車場

内容：大鍋イベント、もちつきイベント、各種団体・サークルなどの発表、
地域の特産品などの展示即売

問い合わせ先：けんずいまつり実行委員会（阿山支所振興課内）（43-1544）

○第26回滝山溪谷紅葉まつり

日時：11月3日（日・祝） 10：30～14：30

場所：白藤滝周辺 ※雨天時は山畑農事集会所

内容：模擬店、ステージイベントなど

その他：会場には駐車場がないため、山畑農事集会所からシャトルバスを運行します。

問い合わせ先：伊賀支所振興課（45-9119）

○大山田収穫まつり 2013

日時：11月4日（月・振替）9：30～15：00 ※雨天決行・荒天中止

場所：大山田B&G海洋センター駐車場

内容：地域の特産品展示即売、各種団体による物産市・ステージイベント

問い合わせ先：大山田収穫まつり実行委員会事務局（布引地区市民センター内）
（47-0928）大山田支所振興課（47-1157）

○ふれあいフェスタ in 青山

日時：11月10日（日）10：00～15：00 ※雨天結構・荒天中止

場所：青山支所周辺

内容：地元でとれた農産物の販売、各種体験コーナー、飲食コーナー、
アトラクション、お楽しみ抽選会など

問い合わせ先：ふれあいフェスタ in 青山事務局（伊賀南部農協青山支所振興課）
（52-1121）青山支所振興課（52-1114）

3. その他（主な質疑応答）

（記者）芭蕉翁生誕370年記念事業に関して、芭蕉の雪像の予算が凍結されています。申し込みが10月半ばまでとなっていますが、そのことについてどう考えていますか。

（市長）議会から市民と意思を共有するようにとのご指摘でしたので、こうした募金活動を始めたこともそうですが、総合計画あるいは庁舎整備計画の中間報告の説明に伺う中で、ご意見等があればお聞かせいただきたいということをお申し上げています。その中で、お一人、「もう少し考えたほうがいいのではないか」という意見がありました。各会場とも「しっかりやれ」というご意見をいただいています。対費用効果については、教育や文化は1年や2年という短い期間で効果がでるものではなく、そういうことを発信して実施していくことが大事であるというご意見がありました。各会場ともご支援の声をいただいていると感じています。臨時議会もありますが、議会へも報告しながら、良い方向で結論を出したいと考えています。

（記者）10月のトップセールスに関して、26日の浅草は市長も行かれますか。

（市長）その日は浅草へ行き、帰ってから図書館の朗読会も行います。先般、「したまちコメディ映画祭」にお招きいただき、台東区長さんと会談して、しっかり後援体制もいただけるという話をしました。また、浅草の観光関係の方あるいは上野の観光連盟の方とも交流を図って、これから上野・上野の関係でしっかりやっていきましょうということもおっしゃっていただきました。浅草や上野方面は伊賀上野と歴史的な繋がりも深いので、今回のような企画を紹介しながらトップセールスしていきたいと思っております。

(記者) 台東区との間で姉妹都市提携的なものはありますか。

(市長) おいおい考えていきたいと思いますが、大変好意的に受け止めていただいています。いずれそういうことになるかも知れませんが、現段階ではそういうことはありません。

(記者) 庁舎の説明会で雪像関係の意見を聴くことは周知していましたか。

(市長) 中間報告の中には、政策として観光も論じています。そういうことで、市民の皆さんも新聞等で関心があると思いますので、何かご意見があればお伺いしています。市民の皆さんとの直接対話の機会ですので、必ずしも庁舎の中間報告だけに限定している訳ではありません。いろんなご意見をいただいています。

(記者) 募金箱は本庁と支所だけですか。

(企画課長) 現時点では市の本庁と支所へ設置します。実行委員会へ諮った後、協力いただける団体については、それぞれの施設等で設置していただきます。本庁、支所は明日から設置します。

(記者) 芭蕉献詠俳句が減りましたがどういう感想をもっていますか。

(市長) 一言でいうならば頑張らなければならないということです。俳句を詠む場が増えているということもありますが、この芭蕉祭に句を献詠するという意味付けがだんだん薄れてきているということだと思います。皆さんがここに投句するという意味をもっとしかりとしていただき、また、それに相応しい式典にする必要性を認識なさいと芭蕉翁がおっしゃっているのだと思います。

(記者) 今回の芭蕉祭はこれまでと何か変わりますか。

(企画課長) 表彰等、基本的は変わりませんが、式典の中でメリハリを付けるという意味で、従来最終に市民合唱団が3曲続けて合唱していたものを、式典の中に盛り込んで分散して行っていきます。式典の会場についても、一般の方がより近くで芭蕉祭に参加していただけるよう、一般の席を従来のテントの前方にもってきました。伝統ある式典の中で、時代に合ったものに少しでも変えていこうということで、今後もいろいろな意見を聴いた中で変えていきたいと考えています。